

I スポーツパフォーマンス研究センターのご案内

1. スポーツパフォーマンス研究センターの役割



平成 27 年度に完成したスポーツパフォーマンス研究棟は、平成 30 年度に学内の共同利用施設、スポーツパフォーマンス研究センターとして新たにスタートしました。上図は、そのセンター化に伴い、スポーツパフォーマンス研究センターの役割を図に示したものです。このようにスポーツパフォーマンス研究センターは、スポーツ活動の実践知を実践研究として残していくこと、また海外の研究者やアスリートの皆さんとの共同研究を進めることなど、多様な研究成果をもとに、教育や大学開放事業、多くのアスリートのサポートに展開していくことなど多くの役割が期待されています。

2. 所属メンバー（平成30年度）

センター長 教授	Director Professor	前田 明	Maeda Akira
准教授	Associate Professor	高橋 仁大	Takahashi Hiroo
准教授	Associate Professor	和田 智仁	Wada Tomohito
准教授	Associate Professor	松村 勲	Matsumura Isao
講師	Lecturer	塩川 勝行	Shiokawa Katsuyuki
特任助教	Assistant Professor	永原 隆	Nagahara Ryu
特任助教	Assistant Professor	村田 宗紀	Murata Munenori
特任助教	Assistant Professor	亀田 麻依	Kameda Mai
特任助教	Assistant Professor	甲斐 智大	Kai Tomohiro
特任助教	Assistant Professor	鈴木 智晴	Suzuki Chiharu
客員教授	Visiting Professor	福永 哲夫	Fukunaga Tetsuo
非常勤研究員	Part-time Researcher	松尾 彰文	Matsuo Akifumi
事務補佐	Clerk	水口 由美子	Mizuguchi Yumiko

スポーツパフォーマンス研究センターは平成30年度から組織化されたため

平成30年度のメンバー（当時の職名）を表記しています

3. 施設案内



館内マップ



スポーツパフォーマンス研究センターは、アスリートのパフォーマンス測定を、より実践の現場に近い形で行うことができるように工夫された施設です。以下に主な測定機器、設備をご紹介します。



埋め込まれているフォースプレート

フォースプレート

50枚（50m）のフォースプレートを設置。これはフォースプレートが設置された陸上トラックでは世界最長を誇ります。スタート位置には、左右の手足それぞれにフォースプレートが埋め込まれており、スタートダッシュ時にかかる力量も測定可能です。

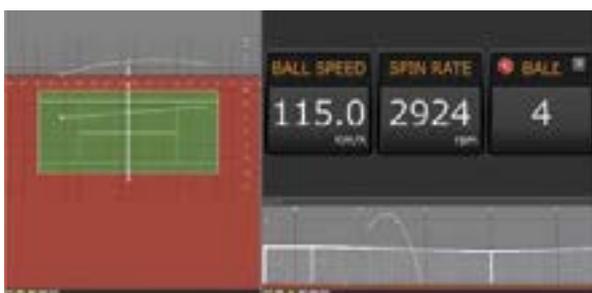


反射マーカー

モーションキャプチャ専用カメラ

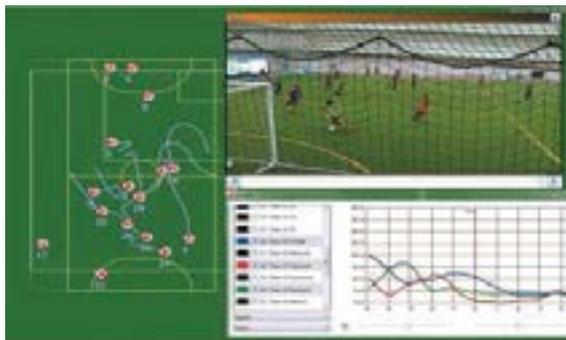
モーションキャプチャー

赤外線を発する専用のカメラを複数台配置することで三次元空間を構築し、マーカーの三次元位置情報をデジタルデータとして取得するシステムです。マーカーと呼ばれる反射素材を選手に装着し、マーカーの位置情報から選手の細かな動作の解析を行うことができます。



球質測定システム

打球したボールの回転数、スピード、回転軸、回転の方向、打点位置、軌跡、落下地点等ボールの動きを解析。打球したボールの質をリアルタイムに測定するシステムです。



オブジェクトトラッキングシステム

選手に装着したセンサーから座標位置、移動速度、体の向き、心拍数などの情報が収集できる、無線方式かつリアルタイムに測定可能な機器です。データは同時に30人、20Hzでサンプリングすることが可能。選手に装着するセンサーの重量は100g程度であり、サッカーなどスポーツの実施に支障のない形状及び重さとなっています。



セミナー室

セミナー室は、会議や打ち合わせ等で利用できます。



ラウンジ

ラウンジに設置している靴箱やベンチ、テーブル等は、鹿屋市の陵北荘に作成していただいたものです。温かみのあるベンチでくつろげるスペースとなっています。



事務室

お越しの際は、受付をいたしますので、お立寄りください。



玄関

広々とした玄関は、バリアフリーはもちろん機材の搬入等もスムーズに行える環境となっています。



更衣室

男女別に設置され、ロッカー・シャワーも完備しています。



データ解析室

収集した研究データは、データ解析室にて即時に分析が可能です。

